

《ニセコの教育について》～コミュニティ・スクール&小中一貫教育の推進を目指して

ニセコ町が目指す教育

「地域と共にある学校づくり」

学校・地域の連携・協働の必要性

- 地域の多様な人々との関わりや様々な経験により子どもの主体性や協働性が育まれる。
- 保護者や住民が積極的に学校運営に参画し、課題を学校・保護者・地域で解決する。
- 地域住民の地域創りへの意識を「公助」から「互助・共助」の視点へと転換させる。
- 子どもたちの安全・安心の確保という観点からも、学校と地域が相互補完的に連携・協働していく関係を築き、社会総がかりで教育の実現を図っていく。

小中連携・一貫の必要性

- 児童生徒に関する課題を複数の学校段階間で連携して解決にあたる体制をつくる。
- 「学びの基礎力の育成」や「個性、創造性の伸長」を学校間連携により完結させていく。
- 「中1ギャップ」(授業の理解度、教科の好き嫌い、いじめ・不登校)の解消を図る。

教育推進上の重要課題

★ “コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）” 導入促進事業の調査研究（2年次）

- ・学校と家庭、地域が目標や課題を共有
- ・ニセコ環境を生かした特色ある学校づくり
- ・学校と地域の協働的活動の展開

★ “ニセコスタイルの教育” の検討

- ・ニセコで学びニセコを愛する子供の育成
- ・幼児センターから高校まで連続した一貫性のある教育活動の推進（小中一貫教育）
- ・グローバル化に対応した英語教育の充実

《「ニセコスタイルの教育」の推進イメージ》

